

市立の認定こども園・保育所においては現状を分析し、今後の教育・保育に役立てる取組をしています。安全管理・養護に関する基本事項、インクルーシブ教育・保育、育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を抜粋し表記しております。

令和3年10月

	安全管理	養護に関する基本事項	インクルーシブ教育・保育	育みたい資質・能力 幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿
精道こども園	○遊具の点検・ヒヤリハット・避難訓練は職員間で連携がとれるように、話し合いや紙面を使い確認している。 ○避難経路に関して確認し合う時間を今後もとっていく。	○子どもが安心して過ごせるように環境を整えることに関して意識が高い結果がでた。 ○幼児自ら身のまわりのことを意欲的に取り組めるように支えようと保育をしている。	○毎月の計画を立てる際に園内委員会を開き、幼児理解を深めている。 ○研修会が少なくなり、勉強の機会が少なくなっている。	○バランスのとれた保育の展開を心がけ幼児に様々な経験ができるようにしている。
西藏こども園	○新しく開園した園なので、多様な想定をした訓練を繰り返し、避難経路確認を徹底する。	○おおむね理解している。 ○今後も全職員で確認し合う。	○こども園になり、職員数が増えているので共通理解のために時間を確保する工夫が必要である。	○実践に活かせるように計画等紙面でまとめ子どもの姿と重ね合わせて研鑽している。
打出保育所	○不審者対応や避難訓練を毎月実施している。 通報については職員全員が対応できるように担当者を変更していく。	○新型コロナウイルス感染症拡大防止を意識しつつ、スキンシップをとっている。 ○子どもの主体性が育めるように生活の流れやリズムを整えていく保育を展開する。	○職員間での意見交換や研修会に参加してさらに知識を深める。	○年間計画、月の計画に意欲的に取り入れて取り組んでいる。
大東保育所	○日頃の避難訓練の際にいろいろな職員に通報する役割が経験できる機会がつかれるように工夫していく。	○理解し実践できている。子どもがゆったりとした気持ちで生活できるように言葉がけを意識していきたい。 ○日々の保育の中で子どもの主体性が育める生活を進めている。	○研修会に参加した職員が得た知識を発信し、職員全体で共通理解ができるようにしていく。	○意識して保育できるように職員室に掲示をしている。今後も念頭に教育・保育ができるように努めていく。
岩園保育所	○夕方や午睡管理、土曜日等に“危機管理マニュアル”を読む機会を設定するなど全職員がさらに意識をもてるようにしていく。	○子どもの気持ちを受容しながら信頼関係を築けている。	○研修会への参加に意欲的である。 ○子ども理解に努め保育を展開している。	○今後も全職員が共通理解ができるように工夫していく。
緑保育所	○子どもの人権を守る対応が組織化されている。 ○施設内の消防設備や避難用具等の使い方が周知されている。 ○職員全体が理解しやすい独自の避難マニュアルの作成を検討していく。	○子どもとの温かなやりとりやスキンシップを常に心がけている。 ○どの項目も高い水準であった。今後も全職員で一人ひとりを大切にしていく保育を心がけていく。	○園全体で一人ひとり子どもについて定期的に話し合う機会をもっている。 ○研修に参加する等、積極的に学び理解を深めていく。	○常に念頭におきながら保育し、日誌にも反映させ職員の保育の質の向上を図る。